



WORLD WATER DAY

MARCH 22

3月22日は「世界水の日」

ゼオライトは水環境の保全に貢献してまいります

Seasons
季節を楽しむ



スノードロップ

[花言葉] 希望 慰め 切ない恋愛

冬の終わりから春先にかけて花を咲かせ、春を告げる花として知られるスノードロップ。また、禁断の果実を食べてエデンの園を追われたアダムとイヴを慰めるため、舞い落ちる雪を「もうすぐ春が来るから絶望してはいけませんよ」と天使がスノードロップに変えた話からこのような花言葉になったといわれています。ひとつの茎にひとつずつ、真っ白な花を俯くように下向きに咲かせ、夜になればその花を閉じ、明るいときに吸収した暖かい空気を溜め込みます。また、イギリスでは品種改良がとても盛んに行われており、数百種類ものスノードロップがあるといわれています。和名は「待雪草」。もしもスノードロップを見つけたのなら、春はもうすぐそこにあるのかもしれないですね。

写真・文 / TRONC (トロンク)
福岡市南区那の川2-4-32 HF平尾レジデンス1F
TEL&FAX 092-791-5571 MAIL info@tronc-f.com
Instagram @toronflower

飲水思源

President Column
会長のひとりごと



【いんすいしげん】
物事の基本を忘れずに大切にすべきという戒め。または、受けた恩を忘れてはいけないという戒め。水を飲むときに、水源のことを思うという意味から。

寒さの中にも春の足音が聞こえてくる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。弊社の今日があるのは、決して自らの力によるものではなく、お客様やお取引先の方々をはじめ多くの人たちを支えられることで、ここまでやってこることが出来ました。そしてそれは個人に置き換えてみましても同じく、素晴らしい仕事も、個人の成長も幸せも、全てでは自分を取り巻くあらゆるもののおかげであるという事を決して忘れず、常に感謝の気持ちを持ち続けなければならないと改めて感じております。

これからの感謝の気持ちと高い志を持って、誠心誠意お客様にお役立ちが出来ますよう社員一同精進してまいります。引き続き、ご指導の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

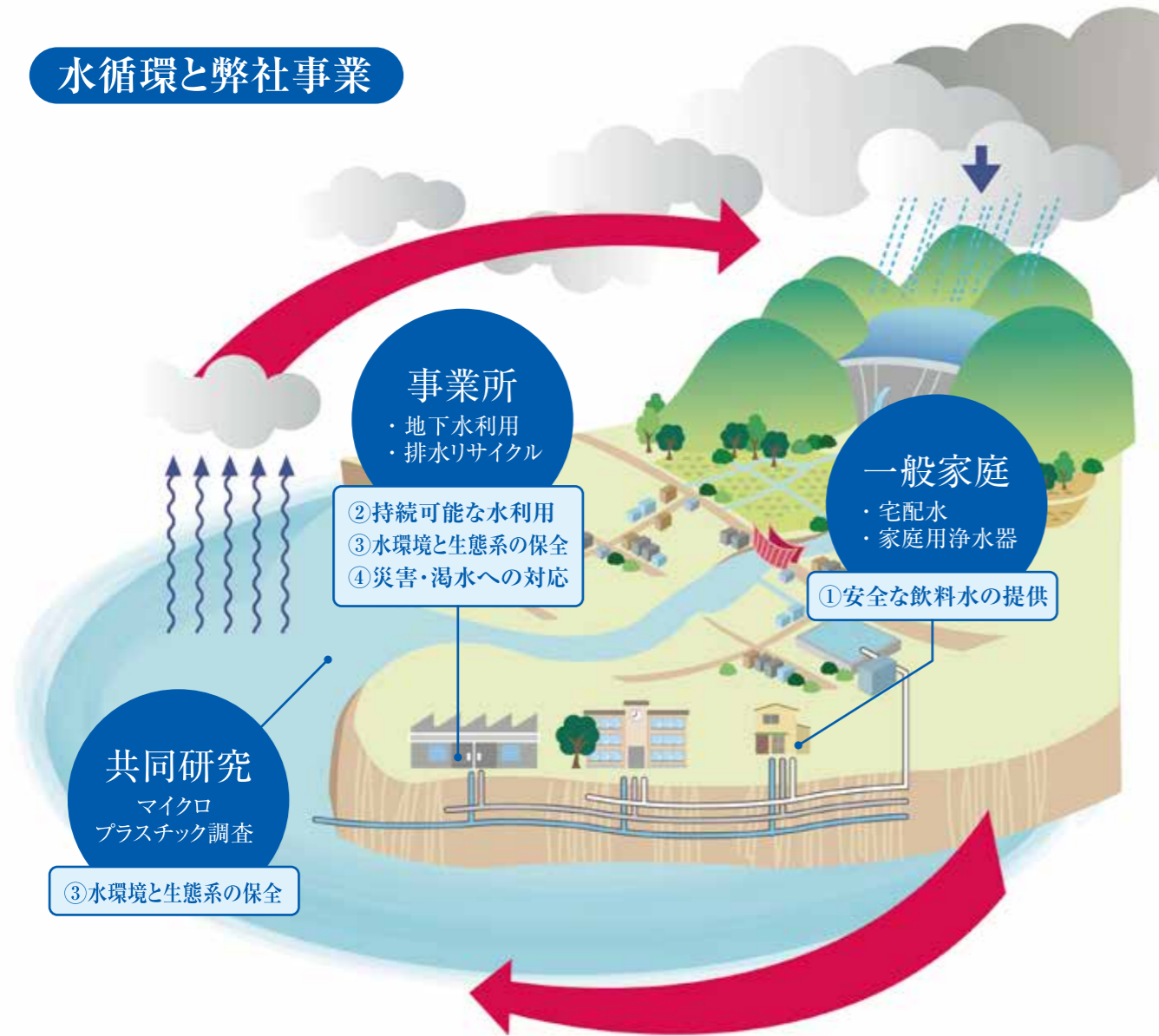
弊社ホームページに「水処理コラム」を開設しました

弊社のホームページ内に「水処理コラム」を開設しました。水処理の技術・知識など、皆様のお役に立つ情報を定期的に掲載してまいります。情報収集や課題解決のヒントに、ぜひご覧くださいませ。

水処理コラム
こちらより



水循環と弊社事業



3/22
世界水の日

毎年3月22日は、国連が定めた「世界水の日」です。1992年12月に国連総会で定められた「世界水の日」は、水がとて大切であること、きれいで安全な水を使えるようにすることの重要性について世界中の人々と一緒に考えるための日です。

世界の水問題

日本では当然のように手に入る水。蛇口をひねれば当たり前のように水が出てくる恵まれた環境です。では世界の事情はどうでしょうか。

安全な水が手に入らない

アジアやアフリカ等の多くの地域ではインフラが未だ整っていません。人々は、不衛生な水を飲んだり、水を手に入れるために危険な目に遭い、普通に生きることも、学ぶこと、暮らすことさえ叶わない。こんな事例が世界には溢れているのです。



サブサハラ・アフリカ諸国では **73%** の人々が
南アジア・中央アジア諸国では **40%** の人々が

安全に管理された飲み水にアクセスできない

汚れた水がそのまま川に捨てられている

人間が出した排水のうち80%以上は処理が行われることなく、河川や海へ放出されています。特に水が不足している地域では限られた水源を安全に使用できなくなるため影響が深刻です。また、環境を汚染し、病気を引き起こす・生態系を破壊するなどの影響があります。

他にも、「気候変動による洪水や干ばつの多発」「水不足のため2030年までに約7億人が移住を強いられる可能性がある」など世界の水問題は非常に深刻です。

ゼオライトは、国連機関・国際機関や各国のNGO等と連携して水問題の解決に取り組むNPO法人「日本水フォーラム(JWF)」の趣旨に賛同し、会員として参加しています。

弊社事業を通じた貢献

- ① **安全な飲料水の提供**
宅配水・家庭用浄水器事業を通して安全な飲料水を提供。目には見えない不純物を取り除いた安全なお水で暮らしに貢献します。
 - ② **持続可能な水利用**
地下水の積極的な活用や、排水のリサイクルにより持続可能な水利用を促進します。限られた水資源を有効活用し社会に貢献します。
 - ③ **水環境と生態系の保全**
事業排水を基準値以下の水質に処理することで、水環境と生態系の保全に貢献します。また世界的な問題となっている海洋プラスチックごみ(マイクロプラスチック)の共同研究・調査に取り組んでいます。
 - ④ **災害や渇水への対応**
災害時など公共水道の利用が制限される場合にも、地下水利用や排水リサイクルにより生活用水を確保することが可能となります。それにより事業継続の可能性が高まり、社会機能の維持に貢献します。
- 地球上のすべての水のうち人間が使える水はわずか0.01%。地球上のすべての水を浴槽一杯分だとすると、人間が使える水はスプーン一杯とほぼ同じ程度しかないといわれています。その貴重な水資源を守るためにも、これまで培った水創りの技術を応用して、事業を通じた持続可能な社会への貢献を目指してまいります。

出典: 特定非営利活動法人日本水フォーラム ホームページ <https://www.waterforum.jp>

※データは出典元作成時のもので、現在とは数字が若干異なります。

